

校長あいさつ

江北町立江北中学校
校長 谷口 一宏

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成

江北中学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、佐賀県のほぼ中央に位置し、JR 長崎本線・佐世保線の分岐点であり特急列車の停車駅である江北駅を有し、国道 34 号・207 号の分岐点でもある交通の『へその町』でもあります。本校は、昭和 22 年の開校以来 79 年目を迎えました。これまでに 14,462 名の卒業生を送り出した歴史と伝統のある中学校です。令和元年度からコミュニティ・スクールが導入され、地域とともにある学校づくりを推進していく体制づくりに取り組んでいます。また、町内一小一中のよさを生かし、義務教育 9 年間で、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成していけるよう目標を共有しながら実践を工夫しています。

【めざす学校像】	【めざす生徒像】	【めざす教師像】
○ともに支え合い、安心して生活できる学校 ○ともに切磋琢磨し、成長していく学校 ○活気と知性があふれる楽しい学校 ○地域と協同し生徒を育成する学校	○自分で考え行動する生徒 ○夢に向かって粘り強く挑戦する生徒 ○自分の行動に責任を持つ生徒 ○他人を思いやる生徒	○熱意と愛情をもって教育にあたる教師 ○幅広い教養と豊かな人間性をもつ教師 ○「チーム江北」の一員として教育にあたる教師 ○使命感にあふれ、学び続ける教師

『居場所のある学校』『共に学び、助け合い、磨き合う仲間がいる学校』『成長を支える教師がいる学校』をめざし、自分をより高く「変革」してくれるよう教育活動を行っています。

本校は、令和 6 年度より「誰もが安心して学べる学校・居場所づくり」を研究テーマに、生徒指導の三機能を踏まえた取り組みを実践しながら、「授業づくり推進部」「心の教育推進部」の 2 部会に分かれ、生徒の学力向上、自己指導力の育成を目指し取り組んでいます。

確かな学力の定着のためには、落ち着いた学習環境の整備が不可欠であり、その上で、将来、社会に出たときに必要な社会性や協調性、忍耐力を養うことが重要だと考えます。自らの課題に向き合い、それを克服していく力を養うことは、これからの激動の社会を生き抜く基礎となります。

学校教育目標の実現のために、今後も保護者や地域の方々と連携し、心身共に健康で調和のとれた人間性豊かな生徒の育成をめざし、教育活動に取り組んでまいります。保護者、地域、関係機関の皆様方におかれましては、これまでにも増してご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。